



# 横浜市立恩田小学校 学校だより 2月号

発行 平成30年 1月31日



## 「ありがとう」を大切に

校長 古屋 澄人

先日、「ソコリキ教育研究所」所長の大住力氏の講演会を聞く機会がありました。大住氏は、大学卒業後オリエンタルランドに入社し東京ディズニーランドを動かす数々の仕組みについて学んできました。講演会の中で興味深かった内容として、なぜキャスト（主にパーク内を清掃するキャスト）が生き生きと働いているのかという話でした。その秘密は、ゲストから「ありがとう」をたくさん言われるからということでした。キャストとして働いているキャストは、パーク内を歩きながら清掃していると、ゲストから1日に100回以上も質問を受けるそうです（これも大切な業務の一つのことです）。その主な内容はアトラクションの場所についての質問で、案内をする度に「ありがとう」と声をかけられ、また、「写真を撮りましょうか」とゲストに声をかける度に「ありがとう」と言われるそうです。つまり「自分は役にたっているんだ！他人から認められているんだ！」という「自己有用感」を得ることができるのだそうです。ここで働く自分が好きになれる。だから自然と生き生きと仕事ができるようになるということです。子どもたちにも自己有用感を育てるためには、この「ありがとう」という感謝の気持ちをお互いに伝え合える友達関係を築けることが大切だと思いました。そのためには、まず周囲の大人から子どもたちへ「ありがとう」をしっかり伝えるようにしていきたいと感じました。

さて、1月22日に実施した「まちとともに歩む学校づくり懇話会」では、懇話会委員の皆様には、ご多用中にもかかわらず、また、雪が降る中でご来校いただきありがとうございます。5校時の授業を参観していただき、その後、学校教育活動についての振り返りを行いました。しかしながら「大雪警報」が発令されたためご意見をいただく前に終了させていただくことになりました。書面で頂いた貴重なご意見を平成30年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

保護者の皆様には、平成29年度の学校教育活動についての学校評価にご協力いただきありがとうございました。2月16日はPTA総会・学校説明会を開催いたします。今年度の教育活動を振り返るとともに保護者の皆様から頂いた学校評価についてご説明いたします。是非、お時間にご都合をつけていただき、多くの皆様のご参会をお願いいたします。また、2月には今年度最後の授業参観を予定しています。授業参観では、お子さまの「すばらしいところ、がんばっているところ」をたくさん見つけてほしいと思えます。発表の様子、聞く姿勢、座る態度、表情等、様々な視点をもってご参観ください。そして、お子さまにがんばっていたところを話してほしいと思えます。それが、先月号に掲載しました「自己肯定感」の向上につながり、そして、次の日の学校生活への意欲につながります。授業参観の後には学級懇談会も開かれます。合わせてご出席のほどよろしくをお願いいたします。

1月22日は予想以上の大雪に見舞われ、横浜では大雪警報が発令されました。4年生以上は、6校時終了間際だったため6校時終了後に集団下校の措置をとりました。今後も大雪などの天候が予想されます。気象情報を確認していただくとともに、気象状況によっては登校後に大雪警報等が発令されることも予想していただき、学校が「児童の引き渡し」を判断した場合は、できるだけ早く来校していただきますようご協力をよろしくをお願いいたします。